

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和2年3月31日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名
経理責任者名
(又は議員名)

兼本 芳雄



令和元年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり
令和元年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

令和元年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

1 収入
政務活動費 440,000 円

【内訳 40,000円×11カ月】

2 支出 205,006 円

3 残額 234,994 円



(その2)

(単位：円)

項目	金額	内訳		備考
		科目	金額	
研究研修費	119,960	会場費	0	清溪セミナー 交流会議2019夏企画
		講師謝金	0	
		出席者負担金・会費	39,000	
		交通費	36,360	
		宿泊費	29,600	
		その他の経費	15,000	
調査旅費	0	交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
資料作成費	0	印刷製本費	0	
		翻訳料	0	
		事務機器等購入費	0	
		リース代	0	
		その他の経費	0	
資料購入費	85,046	資料購入費	85,046	書籍購入ほか
広報費	0	広報紙等印刷製本費	0	
		送料	0	
		会場費	0	
		その他の経費	0	
広聴費	0	会場費	0	
		印刷製本費	0	
		その他の経費	0	

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。

政務活動費 調査旅費等報告書

(会派(議員)名 兼本芳雄)

日程	令和元年7月26日から令和元年7月28日まで 3日間		
日時	視察地	目的・概要	所感等
7月26日 ～27日	東京都	<p>清溪セミナー受講</p> <p>講義Ⅰ「被災自治体からの提言～熊本地震の経験から～」 講師:大西一史(熊本市長)</p> <p>講義Ⅱ「女性の視点を生かした災害に強い地域づくり」 講師:池田恵子(静岡大学教授・同防災センター兼任教員)</p> <p>グループ討議「女性の視点を生かした災害に強い地域づくり」 講師:池田恵子(静岡大学教授・同防災センター兼任教員)</p> <p>講義Ⅲ「災害大国ニッポン、体験的防災論」 講師:福岡政行(東北福祉大学特任教授)</p> <p>講義Ⅳ「男女共同参画と地方自治」 講師:坂東眞理子(昭和女子大学理事長・総長)</p> <p>講義Ⅴ「真の地方創生と地方自治」</p>	<p>講座Ⅰでは、熊本市長の震災からの提言であった。避難所計画どおりにはいかなく、又り災証明等市民への被災者支援などの業務でも様々な問題点が浮かび上がったとのこと。本市が災害にあった場合、私たちが予想している以上のことが起こる。熊本地震を教訓にした業務継続や避難所対策が必要である。</p> <p>講義Ⅱでは災害には男性、女性という性別による災害があることを学んだ。特にトイレの問題は命という大切なものを奪ってしまう。災害関連死は女性に多い。それは女性ならではの問題が必ずある。性別による災害対策はしっかりとしないと直接死よりも関連死の増大となってしまう非常に重要な問題である。</p> <p>グループ討論では各テーブルで題目についての的確な提案ができる訓練をした。いろいろな地域の問題点もわかり、災害時のマニュアルづくりは全国共通ではなく地域の事情を勘案しなければならないと思った。</p> <p>講義Ⅲでは東日本大震災後の体験からの防災論であった。全国で起こる自然災害を乗り切るためには地域のまとめ役が必要であること。歴史から学ぶことは大切であること等を学び、自治会という組織の大切さを改めて確認した。</p> <p>講義Ⅳではジェンダーギャップによる社会経済の悪化について考えさせられた。特に女性に非正規社員が多くいることが原因であると。また女性の政治への参画が非常に少ないために市民のニーズにこ</p>

		<p>講師：片山 善博氏 (早稲田大学大学院政治学研究科教授)</p>	<p>たえる政策ができない等市民が政治離れする要因ではないかと思う。 講義Vでは地方創生について考えた。 東京と同じ政策では我々地方自治体は消滅してしまう。商品券を発行することが本当に私たちの住んでいる地域に必要なのか？そうではない。その自治体の問題点を洗い直し、補助金を有効に利用しなければ地方創生とはならないし、私たちが生活している飯塚市は消滅してしまう。しっかりと本市の問題点を洗い直し問題点をチャンスに変える政策を考えなければならない。</p>
7月28日	東京都	<p>市民と議員の条例づくり交流会議2019夏 つなぐ議会改革 受講 基調提起 廣瀬克哉 (法政大学教授) レポート「議会改革の成果と歩み」長野基(首都大学東京准教授) 話題提供「ここが？だよ自治体議会」小田理恵子(前川崎市議会議員/株式会社 public dots & Company) 事例報告 「議会基本条例10年目の検証」荻野泰男(所沢市議会議員/前議長) 「議会改革のミッションロードマップ」清水克士(大津市議会局次長) 「議員による新人議員研修」中浦新悟(生駒市議会議員) 「改革を継続するための議員研修」岩崎弘宜(取手市議会事務局次長) コーディネーター：廣瀬克哉(法政大学)</p>	<p>議会基本条例の時代を迎えて13年余、さらに議会改革を進めるための議論を行った。議会基本条例制定時にはまだ議員でなかった議員が徐々に多数を占める現在、議会改革の「実効メニュー」は恒常化されつつあることを指摘され、活動自体に新鮮味がなくなり、「何のための議会改革か」を見失い、議会の改革が政策にどのように作用し、どのようなメリットがあるかが、住民には今でもほとんどわからない状態となっているという問題提起がされた。飯塚市では議会改革を行うこと自体、議員間で共有されているだろうか？されていないから議会基本条例もできないのではないかと考えた。今回の講義を聞いて先進議会の議員とそうでない私たちとはかなりのギャップがあることにショックを受けた。議会は市民に寄り添うものでなければならないと思っている。なんとかして議員全員が、なぜ議会改革が必要なのか、同じ認識を持てる行動をすべきではないかと思った。また早急に市民に寄り添う議会となり、市民の信頼を取り戻さなければならないと思った。</p>

令和元年度		政務活動費											
旅行者	役職名 議員 氏名 江口 徹 兼 芳雄 土居幸則	用務 第24回 清溪セミナー 市民と議員の条例づくり交流会議2019夏(第19回) 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 日本青年館ホール 東京都千代田区富士見2-17-1 法制大学外濠校舎	月日	発着駅名 ～ 福岡空港 ～ 羽田空港 ～ (東京駅) ～ 羽田空港 ～ 福岡空港 福岡空港 ～ 新飯塚	經由	鉄道賃			賃	日当及び 食事代	宿泊料		割引 備考
						旅程	運賃	超・特・急			料金計	宿泊地	
7	26	新飯塚	～ 福岡空港						バス	930	3,000		
		福岡空港	～ 羽田空港							16,600	3,000		バック料金
		羽田空港	～ (東京駅)	浜松町		160			160 モノレール	490		新宿区	14,800
7	27										3,000		移動なし
											3,000	新宿区	14,800
7	28	(東京駅)	～ 羽田空港	浜松町		160			160 モノレール	490	3,000		
		羽田空港	～ 福岡空港							16,600			バック料金
		福岡空港	～ 新飯塚						バス	930			
経号				計		320	0			36,040	15,000		29,600
※												合計金額	80,960

はバック料金

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 兼本 芳雄)

(研究研修費、No. /)

(領収証等貼付箇所)

No. 58

領 収 書

福岡県


2019年7月26日

兼本 芳雄 様

¥29,000. -

第24回清溪セミナー参加費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員会
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘
日本青年館
TEL 03-6452-9011



領 収 書


2019年7月28日

兼本 芳雄 様

10,000円

交流会議2019 夏企画 参加費として
上記正に領収いたしました

市民と議員の条例づくり交流会議
〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7-6E
TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 兼本 芳雄)

(研究研修費、No. 2)

(領収証等添付用紙)

No. Web190612122527
発行日: 2019年06月12日

領 収 証

江口徹・土居幸則・兼本芳雄

様

¥188,400-

お支払い方法: 現金・クレジットカード・その他でのお支払いを含みます

但し、ご旅行代金として

上記金額正に領収いたしました。

ANAセールス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-14-1
フロントプレイス日本橋



AG765742
①お客様用

予約詳細

ご予約内容は以下の通りです。ご予約の状況をご確認ください。

出発日（ご利用日）	照会番号	商品名	代表者名	予約状況	料金
2019年07月26日(金)	AG765742	航空券+宿泊「ANA旅作」	江口 徹様	予約確定	188,400円




出発日までの手続き




お支払関連	ご入金済み	
	旅行代金	188,400円
	ANA SKY コイン	600円
	ご入金額	187,800円
	クレジットカード	
領収書	「領収書発行」ボタンよりご確認ください。	
座席指定	指定済み	
お持ちいただく書類	ご出発日の21日前（21前を過ぎたご予約の場合は24時間以内）にお送りする「最終のご案内」メール到着後、こちらより印刷が可能となります。 ※弊社より郵送する書類はございません。	

お客様へのお知らせ




お申し込みの商品はご利用便・ご搭乗者名・プラン内容など、ご変更は承っておりません。変更をご希望の場合は改めてご予約をいただき不要なご予約を取り消ししてください（取消手数料が発生する場合がございますのでご確認のうえ操作をしてください）。

旅程

商品名	航空券+宿泊「ANA旅作」		エグチトオル様	カネモトヨシオ様	ドイユキノリ様	
出発日	2019年07月26日(金)					
旅程	お申し込み内容	ご利用数	予約状況			
1日目 7月26日 (金)	 ANA 242 福岡 08:00 - 羽田 09:45 普通席	3席	予約確定	● (37H)	● (37K)	● (37J)
	 日本青年館ホテル 【食事なし】ダイナミックパッケージ専用プラン 禁煙 洋室 シングル _スーペリア 1名1室利用 食事なし MAP 評価：4.5  129件のクチコミ	3室	予約確定	●	●	●
2日目	日本青年館ホテル 【食事なし】ダイナミックパッケージ専用プラン 禁煙 洋室 シングル					

7月27日 (土)		— スーペリア 1名1室利用 食事なし MAP 評価: 4.5  129件のクチコミ	3室	予約確定	●	●	●
3日目 7月28日 (日)		ANA 267 羽田 18:00 - 福岡 20:00 普通席	3席	予約確定	● (36K)	● (36H)	● (36J)
			1名様ごとのご旅行代金	62,800円	62,800円	62,800円	

お客様情報

	姓	名	年齢	性別	ANAマイレージクラブ お客様番号	サポート情報		
 代表者	全角カナ 漢字	エグチ 江口	トオル 徹	様 様	53歳	男性	5135304087	登録なし
 同行者1		カネモト	ヨシオ	様	51歳	男性		登録なし
 同行者2		ドイ	ユキノリ	様	53歳	男性		登録なし

旅客情報 (代表者様)

郵便番号 都道府県名・市区郡名

〒 820-0001 福岡県飯塚市

町名・番地

鯉田2525-159

マンション名またはご勤務先・部署など

電話番号1

自宅 0948-24-9196

電話番号2 ※任意

メールアドレス

kawasaki1@mx7.tiki.ne.jp

第24回清溪セミナー [申込書]

〔基本情報について〕

記入日 2019年6月11日

所 属 (議会名・会派名等)	飯塚市議会		
ふりがな 名 前	かねもと よしお	TEL	0948 - 22 - 0214
	兼本 芳雄	FAX	0948 - 28 - 1251
住 所	〔〒 820-8501 〕 福岡県飯塚市新立岩 5-5		
EMAIL アドレス			
領収書の要・不要 (宛名)	必要 → 名前		

〔参加講座等について〕 (講義名は変更する場合があります)

26日	13:00~14:30	講義Ⅰ「被災自治体からの提言 ～熊本地震の経験から～」(仮)	参加	29,000円
	14:45~16:15	講義Ⅱ「女性の視点を生かした災害に強い地域 づくり」	参加	
	16:30~18:30	同上 グループ討議	参加	
27日	9:00~10:30	講義Ⅲ「災害大国ニッポン、体験的防災論」	参加	
	10:45~12:15	講義Ⅳ「男女共同参画と地方自治」	参加	
	13:30~15:15	講義Ⅴ「真の地方創生と地方自治の役割」	参加	
27日	12:15~13:20	昼食 (日本青年館内でご用意します)	不要	1,900円

※上記は税込金額

その他通信欄	支払は当日でお願いします。(他の飯塚市議会議員も同様です。) また、連絡問い合わせ等は、他の議員分も含め江口が対応します。
--------	---

※本申込書 1 枚に 1 名様分をご記入ください。複数必要な場合はコピーしてご使用ください。
 ※日本青年館公式サイト (<https://nippon-seinenkan.or.jp/seinenkan/>) から
 ダウンロード可能です。

清溪セミナー事務局 FAX 03-6452-9016

第24回 清溪セミナー

120名限定

住民主体の地方自治を進めるために

2019年
7月26日(金)~27日(土)

議員同士の全国ネットワークに
参加しませんか



第24回清溪セミナー実行委員会
委員長 白井 えり子
(愛知県稲沢市議会議員)

第1回清溪セミナーを開催したのは平成9年2月。地方自治体の自治能力と地方議会のあり方が問われる時代の真っ只中、自治体改革、議会改革を旗印に地方議員による地方議員のためのセミナーとして実行委員会形式でスタート。講師の先生から国や地方政治の課題を学習し、参加者同士も交流を深めて来ました。

元号も改まり、新しい時代を迎えています。この「新しい時代」は決して明るいものではありません。厳しい国際環境の中、自治体は少子高齢化の進行、地方経済の低迷、人口流出などなど難題は枚挙のいとまありません。それに加え、うち続く自然災害への対応は自治体運営に巨大な足枷を強いています。

第24回の今年のセミナーは、この「災害」をテーマにしました。災害は、自治体が抱える諸課題を集中的に露呈させる事案だからです。災害に対処することは、自治体を取り巻く諸課題への適切な対応の「道標」になるに違いありません。

セミナーでは、被災自治体から大西熊本市長、防災において女性の視点が不可欠なことから静岡大学の池田先生をお招きし、2日目は議会の役割、議員としての重要な視点、国の政策課題、動向把握など実際に役立つ講座を企画いたしました。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

講師 (講演順・敬称略)

- 大西 一史 (熊本市長)
- 池田 恵子 (静大大学教育学部教授・同院災害センター兼任教員)
- 福岡 政行 (兼任講師・東北福祉大学特任教授)
- 坂東 真理子 (昭和女子大学 理事長・総長)
- 片山 善博 (早稲田大学大学院政治学研究所教授)

会場：日本青年館ホテル 8F 会議室

160-0013 東京都新宿区露ヶ丘町4-1
(地下鉄銀座線「外苑前駅」徒歩5分)

主催：清溪セミナー実行委員会

共催：一般財団法人日本青年館

参加対象：地方議会議員等 約120名(限定)

参加申込：所定の申込書を「FAX」「郵送」「メール」のいずれかで下記までお送りください。受付後に請求書を「FAX」もしくは「メール」にてお送りし申込完了となります。また、公式ホームページにある申込フォームからお申込みいただけます。



申込締切：2019年7月12日(金) 17:00必着

参加経費：参加費(会場費・資料代等)

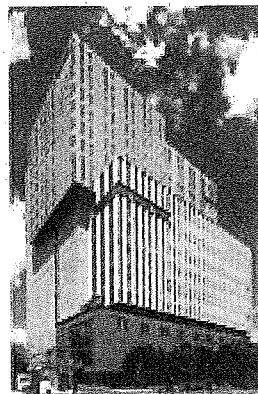
29,000円(税込)

27日 昼食・情報交換会(ドリンク付) 参加費
1,900円(税込)

宿泊：日本青年館ホテルでの宿泊はネット予約またはホテルパックで利用できます。

ご手配は各自をお願いいたします。

<https://nippon-seinenkan.or.jp>



日本青年館ホテル全額

第24回 清溪セミナープログラム

※日程及び講師につきましては、政局等により変更または延期、中止となる場合があります。

第1日目 7月26日(金)

- 12:00～ 受付
12:30～12:50 開講式
12:50～13:00 休憩
13:00～14:30 講義Ⅰ



「被災自治体からの提言 熊本地震の経験から」(仮)

講師 大西 一史
(熊本市長)

(プロフィール)

熊本市長。昭和42年熊本生まれ。日商岩井メカトロニクス(株)、内閣官房副長官秘書、熊本県議会議員(5期)を経て、平成26年12月に熊本市長に就任(現在2期目)。熊本地震では自らツイッターを駆使し、市民への積極的な呼びかけを行うなど陣頭指揮を執った。

(内容) (仮)

熊本地震発生から3年が経過。被災自治体市長として発生直後から陣頭指揮をとった経験から、BCPやSNS発信など様々な経験をもとに、地方議員や議会の果たす役割を提言する。

- 14:30～14:45 休憩

- 14:45～16:15 講義Ⅱ



「女性の視点を生かした災害に 強い地域づくり」

講師 池田 恵子
(静岡大学教育学部教授・防災総合センター兼任教員)

(プロフィール)

一橋大学大学院修了後、国際協力の現場を経て平成12年より静岡大学教員。専門は、社会地理学、日本の地域防災体制にジェンダー・多様性の視点を取り入れるための調査、研修、政策提言に取り組む。減災と男女共同参画研修推進センター共同代表。

(内容)

災害時に被害を拡大しないためには、性別や多様な立場の住民の視点を生かした地域防災体制と日常的な地域ネットワークの構築が不可欠。実践事例を踏まえ、現実的な導入方法を提言する。

- 16:30～18:30 グループ討議

「防災ワークショップ」

講師 池田 恵子
(静岡大学教育学部教授・防災総合センター兼任教員)

第2日目 7月27日(土)

- 9:00～10:30 講義Ⅲ



「災害大国ニッポン、 体験的防災論」

講師 福岡 政行
(常任講師・東北福祉大学特任教授)

(プロフィール)

昭和20年東京葛飾生まれ、早稲田大学卒業後、駒澤大学助教等を歴任し、白鴎大学名誉教授、東北福祉大学特任教授。清溪セミナーでは常任講師として企画に携わる。近著に「シリ貧大国ニッポンー2025年問題の悲劇」(毎日新聞出版)

(内容)

東北をはじめ、各地の被災地に学生たちとボランティアとして出向き様々な経験をしてきた立場から、災害対策のあるべき姿を提言する。さらに参議院選挙後の日本の政治・経済・外交のゆくえを大胆に予測する。

- 10:30～10:45 休憩

- 10:45～12:15 講義Ⅳ



「男女共同参画と地方自治」

講師 坂東 眞理子
(昭和女子大学 理事長・総長)

(プロフィール)

昭和44年東京大学卒業、総理府入省。平成7年埼玉県副知事、平成10年プリズン総領事、平成13年内閣府男女共同参画局長、平成16年昭和女子大学・女性文化研究所長、平成19年学長、平成26年～理事長、平成28年～現職。著書「女性の品格」他、著者40冊以上。

(内容)

政治分野への女性参画を促すことは、21世紀の課題先進国日本が新しい取り組みを行う上で不可欠である。新しいコミュニティの構築を通じ若者の自立、育児・教育のシェア、リカレント学習、新しい働き方を探る。

- 12:15～13:20 昼食・情報交換会

- 13:30～15:15 講義Ⅴ



「真の地方創生と地方自治」

講師 片山 善博
(早稲田大学大学院政治学研究科教授)

(プロフィール)

昭和49年東京大学法学部卒業、自治省入省。平成11年から鳥取県知事(2期)、平成19年4月から平成29年3月まで豊後誠塾大学教授。この間平成22年9月から平成23年9月まで総務大臣。平成29年4月、早稲田大学大学院政治学研究科教授就任。

(内容)

真に住民と地域に視点を置いた地方創生を実現するため何が必要か。

地方議員、議会はどのような役割を果たすのか、各地の実践も紹介しつつ改革への道筋を提示する。

- 15:15～15:30 閉会式

事務局

一般財団法人日本青年館 公益事業部
(飯塚/渋谷/小塚)

〒160-0013 東京都新宿区飯塚4-1
電話 03-6452-9012 FAX 03-6452-9016
(平日9時～18時)

E-MAIL: seikai-seminar@nippon-seinenkan.or.jp

参加申し込み書

市民と議員の条例づくり交流会議2019夏（第19回）

つなぐ議会改革

2019年7月28日（日）10:00～15:30

FAX 03-3263-9463（事務局宛）

ふりがな
お名前（フルネーム）

かねもと よしお
兼本 芳雄

ご所属

福岡県 飯塚市議会

（議員の場合は、議会名、自治体職員の場合は、可能でしたら
自治体名をご記入ください。市民の方は不要です）

参加種別

議員（参加費1万円） 市民（議員以外・参加費2千円）

（↑どちらかにチェックを入れてください）

EMAIL アドレス

myyka7 @ gmail. com

ご住所

〒 820-0011

福岡県飯塚市柏の森 98-23

その他ご意見などがあればご記入ください

こくちーずのサイトからもお申込みできます。

こちらのQRからお願いします⇒



市民と議員の条例づくり交流会議 自治体議会改革フォーラム 事務局

〒102-0082 東京都千代田区一番町 9-7-6F

TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463

E-mail jourei@jourei.jp URL <http://www.jourei.jp>

議会改革のタマシイをつなぐ

議会基本条例の時代を迎えて13年余、初期に議会基本条例を制定した自治体ではすでに2、3回の改選を経て、策定を経験していない議員が増えています。今年の統一選でも新たな議員が多数誕生しました。

議会改革のさまざまな項目が、なぜ必要とされ、どのような効果を意図して導入されたのか。「制度だから実施する」という認識で取り組むことだけが期待されているわけではありません。今、行われている新人議員研修は十分にその効果を発揮しているのでしょうか。議会改革のタマシイを新人議員に継承していくためには、どんな取り組みが必要とされているのでしょうか。

議会基本条例制定後、改選を何度か経験してきた議会の経験を共有しながら、議会改革を「つなぐ」ための課題を確認し、さらに議会改革を進めるために参加者と議論を行います。どうぞ、ご参加ください。

◎ **日時** 7月28日(日)
10:00～15:30 (昼食休憩あり)

◎ **場所** 法政大学外濠校舎6F
薩埵ホール
東京都千代田区富士見2-17-1

◎ **参加費** 議員1万円 / 市民2千円

- **プログラム概要** (2019年6月5日現在。最新情報はwebで)
総論、問題提起、事例報告、全体議論など
- **登壇(予定)**
広瀬克哉(法政大学)、長野基(首都大学東京)
【事例報告】
 - ・議会基本条例10年目の検証(荻野泰男 所沢市議会前議長)
 - ・議会改革のミッションロードマップ(清水克士 大津市議会局次長)
 - ・改革を継続するための議員研修(岩崎弘宜 取手市議会事務局次長)
 - ・議員による新人議員研修(生駒市議会有志)
 - ・自治体議員の経験を活かす(小田理恵子前川崎市議会議員
/株式会社 Public dots & Company) 他

お申込みはweb、もしくは裏面で

- **主催** 市民と議員の条例づくり交流会議 / 自治体議会改革フォーラム
- **共催** 法政大学ボアソナード記念現代法研究所(調整中)
- **問合せ:事務局**
〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7-6F
TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463
E-mail jourei@jourei.jp URL <http://www.jourei.jp>

市民と議員の条例づくり交流会議2019夏(第19回)

つなぐ 議会改革

議会改革の歩みと成果、課題を検証し、議会改革をさらに進める道を議論します
新人議員もベテラン議員も、ともに議論しましょう。ぜひ、ご参加ください



市民と議員の
条例づくり交流会議



自治体議会改革
フォーラム

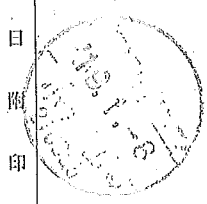
政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 兼本 芳雄)

(資料購入費、No. 2)

(領収証等貼付箇所)

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

口座番号 加入者名 金額 振込先 ご依頼人 料 金 備 考	00150-8-196500	日本教育新聞社		CVS 収納用 収入印 紙貼付 欄
	千 百 十 万 千 百 十 円	1 6 2 0 0	銀行	
おなまえ	488821			(お客様控)
兼本 芳雄				
(消費税込み)	日 附 印			

原本は平成30年度
報告に添付

H31.5月分

(ゆうちょ銀行)

請 求 書

2018年 12月 20日

兼本 芳雄 様

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
下記の通りご請求申し上げます。
※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役 小林 幹長

東京都港区白金台5-1-10

電話 03 (3480) 7008

《お支払い先》

- ・振替払込 00150-8-196500
- ・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店 普通預金 2835213
- ・口座名義 株式会社日本教育新聞社

合計請求額	16,200 円	読者コード	84-488821	請求書番号	0004167457
-------	----------	-------	-----------	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				円	
今回入金額				円	
差引繰越額				円	
今回請求額				円	
合計請求額	日本教育新聞			16,200 円	2018/12-2019/05 2700円/月

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 兼本 芳雄)

(資料購入費、No. 3)

(領収証等貼付箇所)

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

口座番号 加入者名 金額 振込先 ご依頼人 料 備考	001508	196500	日本教育新聞社		CVS 取納用 収入印紙 貼付欄
	千 百 十 万 千 百 十 円	1 6 2 0 0	銀行	支店	
おなまえ	488821				(お客様控)
兼本 芳雄					
(消費税込み)	円	日	19.7.01		
附					
印					

(ゆうちょ銀行)

請 求 書

2019年 6月 19日

兼本 芳雄

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
下記の通りご請求申し上げます。
※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役 小林 幹 長

東京都港区白金台3-2-10

電話 03(31280)7008 (代表)

《お支払い先》

- ・振替払込 00150-8-196500
- ・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店
普通預金 2835213
- ・口座名義 株式会社日本教育新聞社

合計請求額	16,200 円	読者コード	84-488821	請求書番号	0004224487
-------	----------	-------	-----------	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				円	
今回入金額				円	
差引繰越額				円	
今回請求額				円	
合計請求額	日本教育新聞			16,200 円	2019/06-2019/11 2700円/月

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 兼本 芳雄)

(資料購入費、No. 4)

(領収証等貼付箇所)

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

口座番号	0 0 1 5 0 8	1 9 6 5 0 0
	日本教育新聞社	
加入者名	日本教育新聞社	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	1 6 5 0 0
振込先	銀行	支店
おなまえ	488821	
ご依頼人	兼本 芳雄	
料 金	(消費税込)	日 円
備 考	附 印	20.1.-8

この受領証は、大切に保管してください。

CVS取納用収入印紙貼付欄

(お客様控え)

(ゆうちょ銀行)

請 求 書

2019年 12月 4日

兼本 芳雄

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
 下記の通りご請求申し上げます。
 ※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役 小林 幹長

東京都港区白金台5-2-10

電話 03(3280)7008 (代表)

《お支払い先》

- ・振替払込 00150-8-196500
- ・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店 普通預金 2835213
- ・口座名義 株式会社日本教育新聞社

合計請求額	16,500 円	読者コード	84-488821	請求書番号	0004275306
-------	----------	-------	-----------	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				16,200 円	2019/06-2019/11
今回入金額				16,200 円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,500 円	2019/12-2020/05
合計請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,500 円	2019/12-2020/05 2750円/部

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 兼本 芳雄)

(資料購入費、No. 5)

(領収証等貼付箇所)

払込金受領証
(金融機関・コンビニエンスストア用)

受取人
第一法規株式会社

払込人
兼本 芳雄

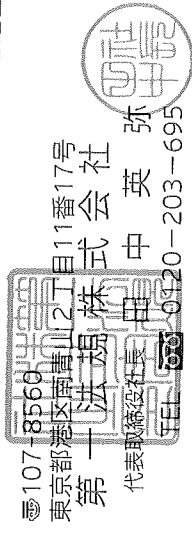
請求金額 3,150 円

お客様番号
103-001428
-0008

収入印紙
(コンビニエンス
ストア専用)

9.7.10

(お客様捺)



請求書

：兼本 芳雄 様

ご購読ありがとうございます。下記のとおりご請求いたします。

年 月 日

ご請求額 3,150

お客様番号 103-001428-0008

請求書番号 1114620

商 品 名	明細(追録号数)	購読部数	金 額	備 考
66の改革項目と事例でつなぐ議会改革 実践マニユア		1	3,150円	

取引銀行

みずほ銀行 青山支店	当座 0013161
三井住友銀行 長野支店	当座 0005986
八十二銀行 本 店	当座 2000858

この金額には消費税及び地方消費税が含まれております。 郵便局・金融機関・コンビニエンスストア(領面参照)のどちらからでもお支払いいただけます。

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 兼本 芳雄)

(資料購入費、No. 6)

(領収証等貼付箇所)

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	00120	141293	株式会社 中央文化社	No.C 786	兼本 芳雄 様
通部私込 印金加入 者負担	1		千 百 十 万 千 百 十 円	9 7 9 2	
記入名	株式会社 中央文化社				
金額	9 7 9 2				
ご依頼人	兼本 芳雄 様				
料 金	日 附 印				
備 考	01-07-11 新飯塚駅前 郵便局 (74320) N94340020				

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

請 求 書

No C 786

平成 年 月 日

兼本 芳雄 殿

下記の通り御請求申し上げます

¥9792

株式会社 中央文化社

代表取締役 大塚 昭彦

東京都千代田区一番町25番地

全国町村議員会館

電話 03(3264)2457 経理

FAX 03(3264)2867

郵便振替 00120-1-141293

取引銀行 みずほ銀行 麹町支店

当座番号 0102435

口座名 カブシキガイシャ チュウオウブンカシャ

品 名	数 量	単 価	金 額
『地方議会人』購読料	12	816	9792
2019年4月~2020年3月			
合計			¥9792

※ ご購読中止のご連絡がない場合は、従来通りご送付させていただいておりますので、

中止の場合は、必ずご連絡くださいますよう、お願いいたします。

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 兼本 芳雄)

(資料購入費、No. 7)



領収証

柏の森98-23

R 01年 07月
14区

兼本 芳雄 様

No./4110

銘	柄	部数	金額	月	日領収
読売新聞	朝刊	1	3,750		
			合計金額		3,750 円

日領は読売新聞をご愛読頂きまして誠にありがとうございます。
購読料のお支払は手数料不要の自動振替が便利です。

飯塚西部・新飯塚・嘉麻中央

代表者 日掛 誠

(0948) 23-5076・28-7350

所長印

長崎読売新聞

0117



領収証

柏の森98-23

R 01年 05月
14区

兼本 芳雄 様

No./4110

銘	柄	部数	金額	月	日領収
読売新聞	朝刊	1	3,750		
			合計金額		3,750 円

日領は読売新聞をご愛読頂きまして誠にありがとうございます。
購読料のお支払は手数料不要の自動振替が便利です。

飯塚西部・新飯塚・嘉麻中央

代表者 日掛 誠

(0948) 23-5076・28-7350

所長印

長崎読売新聞

0117



領収証

柏の森98-23

R 01年 08月
14区

兼本 芳雄 様

No./4110

銘	柄	部数	金額	月	日領収
読売新聞	朝刊	1	3,750		
			合計金額		3,750 円

日領は読売新聞をご愛読頂きまして誠にありがとうございます。
購読料のお支払は手数料不要の自動振替が便利です。

飯塚西部・新飯塚・嘉麻中央

代表者 日掛 誠

(0948) 23-5076・28-7350

所長印

長崎読売新聞

0117



領収証

柏の森98-23

R 01年 06月
14区

兼本 芳雄 様

No./4110

銘	柄	部数	金額	月	日領収
読売新聞	朝刊	1	3,750		
			合計金額		3,750 円

日領は読売新聞をご愛読頂きまして誠にありがとうございます。
購読料のお支払は手数料不要の自動振替が便利です。

飯塚西部・新飯塚・嘉麻中央

代表者 日掛 誠

(0948) 23-5076・28-7350

所長印

長崎読売新聞

0117

政務活動費 領収証等添付用紙


(会派(議員)名 兼本 芳雄)

(資料購入費、No. 8)

(領収)


領収証
 柏の森98-23
 兼本 芳雄 様
 令和 01年 11月分
 8%対象 ¥3,750 内消費税 ¥277
 10%対象 ¥0 内消費税 ¥0
 14区 *は軽減税率対象商品
 No./4110

銘	柄	部数	金額	月	日領収
01/11 *	読売新聞 朝刊	1	3,750		
			合計金額		3,750
					内税 ¥277

日頃は読売新聞をご愛読頂きまして誠にありがとうございます。
 購読料のお支払は手数料不要の自動振替が便利です。
 **飯塚西部・新飯塚・嘉麻中央**
 代表者 日掛 誠
 (0948) 23-5076・28-7350


領収証
 柏の森98-23
 兼本 芳雄 様
 令和 02年 02月分
 8%対象 ¥3,750 内消費税 ¥277
 10%対象 ¥0 内消費税 ¥0
 14区 *は軽減税率対象商品
 No./4110

銘	柄	部数	金額	月	日領収
02/02 *	読売新聞 朝刊	1	3,750		
			合計金額		3,750
					内税 ¥277

日頃は読売新聞をご愛読頂きまして誠にありがとうございます。
 購読料のお支払は手数料不要の自動振替が便利です。
 **飯塚西部・新飯塚・嘉麻中央**
 代表者 日掛 誠
 (0948) 23-5076・28-7350

領収証
 柏の森98-23
 兼本 芳雄 様
 令和 02年 03月分
 8%対象 ¥3,750 内消費税 ¥277
 10%対象 ¥0 内消費税 ¥0
 14区 *は軽減税率対象商品
 No./4110

銘	柄	部数	金額	月	日領収
02/03 *	読売新聞 朝刊	1	3,750		
			合計金額		3,750
					内税 ¥277

日頃は読売新聞をご愛読頂きまして誠にありがとうございます。
 購読料のお支払は手数料不要の自動振替が便利です。
 **飯塚西部・新飯塚・嘉麻中央**
 代表者 日掛 誠
 (0948) 23-5076・28-7350

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 兼本 芳雄)

(資料購入費、No. 9)

(領)

領収証

◎西日本新聞

柏の森98-23
兼本 芳雄 様

19年05月分

銘	柄	部数	金額
西日本新聞	朝刊	1	¥3,600
合計 (消費税を含む)			¥3,600

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。
西日本新聞エリアセンター 飯塚東
飯塚市上三緒367-5
TEL 29-3191



ご購入ありがとうございます。

領収証

◎西日本新聞

柏の森98-23
兼本 芳雄 様

19年07月分

銘	柄	部数	金額
西日本新聞	朝刊	1	¥3,600
合計 (消費税を含む)			¥3,600

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。
西日本新聞エリアセンター 飯塚東
飯塚市上三緒367-5
TEL 29-3191



ご購入ありがとうございます。

領収証

◎西日本新聞

柏の森98-23
兼本 芳雄 様

19年06月分

銘	柄	部数	金額
西日本新聞	朝刊	1	¥3,600
合計 (消費税を含む)			¥3,600

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。
西日本新聞エリアセンター 飯塚東
飯塚市上三緒367-5
TEL 29-3191



ご購入ありがとうございます。

領収証

◎西日本新聞

柏の森98-23
兼本 芳雄 様

19年08月分

銘	柄	部数	金額
西日本新聞	朝刊	1	¥3,600
合計 (消費税を含む)			¥3,600

購読料のお支払は便利な自動振替がご利用いただけます。
西日本新聞エリアセンター 飯塚東
飯塚市上三緒367-5
TEL 29-3191



ご購入ありがとうございます。

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 兼本 芳雄)

(資料購入費、No.10)

(領)

西日本新聞 領収証

西日本新聞 領収証

柏の森98-23
兼本 芳雄 様

柏の森98-23
兼本 芳雄 様

'20年03月分

'19年11月分

銘	部数	金額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,600
合計(消費税を含む)		¥3,600

銘	部数	金額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,600
合計(消費税を含む)		¥3,600

上記は全て軽減税率(8%)対象商品です。
西日本新聞エリアセンター飯塚東
飯塚市上三緒367-5
TEL 29-3191



ご購入ありがとうございます。

上記は全て軽減税率(8%)対象商品です。
西日本新聞エリアセンター飯塚東
飯塚市上三緒367-5
TEL 29-3191



ご購入ありがとうございます。

西日本新聞 領収証

西日本新聞 領収証

柏の森98-23
兼本 芳雄 様

柏の森98-23
兼本 芳雄 様

'20年02月分

銘	部数	金額
西日本新聞 朝刊	1	¥3,600
合計(消費税を含む)		¥3,600

上記は全て軽減税率(8%)対象商品です。
西日本新聞エリアセンター飯塚東
飯塚市上三緒367-5
TEL 29-3191



ご購入ありがとうございます。